

# しずおか平和の風

No.90  
2022年10月25日  
発行  
静岡市  
平和委員会  
静岡市葵区鷹匠  
1-5-8

TEL 253-1854  
FAX 252-0785  
メール  
peacecity1854  
@gmail.com  
ホームページ  
https://shizuoka-shi-heiwa-inkai.jimdofree.com



## “茶番”二態

佐藤 博明

安倍元首相の「国葬」とプーチン・ロシアのウクライナ4州の「併合」である。いずれも、大半の国民と国際社会の猛烈な「プーイング」

の中で強行されたクレージーな「茶番」、俗悪な政治ショーと見なければならぬ。安倍「国葬」は、法的根拠もなく、しかも巨額の血税を使って行った、政権与党の恣意的で傲岸な政治的イベントであり、ロシアによる東・南部4州の「併合」は、2月以来の軍事侵略によってウクライナの主権と領土を踏みじり、破壊と殺戮を欲しままにした、プーチン・ロシアの居直り強盗的な蛮行である。

安倍政権の8年8ヶ月は、9条改憲に執念を燃やし、安保法制や秘密保護法、集団的自衛権の行使容認とともに、アベノミクスで格差と貧困、社会的分断を拡大、国民生活を疲弊させ、国会での百回を超える虚偽答弁と「モリ・カケ・サクラ」で国政を歪め私物化したあげく、統一教会とのズブズブの癒着関係など、反民主主義・反国民的な所業と事跡で覆われたものである。それは、とうてい「故人に対する敬意と弔意を国全体として表す」国葬に値するものではなく、現に、各種のアンケートでも、また当日、国会前をはじめ全国各地で行われた抗議行動でも、その

「民意」は明らかである。

この国の国葬第一号は、明治11年の、維新の元勳・大久保利道だが、戦前期では、「国葬令」の下で行われた昭和18年、山本五十六元帥のそれである。山本は、ハワイ・真珠湾の奇襲攻撃で指揮を執り、二年後のブーゲンビル島上空で作戦指揮中、米軍機に撃墜され戦死した連合艦隊司令長官である。山本は、大日本帝国憲法の下、主権者天皇の「特旨」により、「国家に偉勲ある者」として国葬に付され、国全体が「軍神」山本五十六の喪に服した。北海道の片田舎の国民学校でも、半旗を掲げ、校庭に集められた生徒たちを前に、校長が「鬼畜米英、撃ちてしままん」の訓辞をたれ、一斉に黙禱したことを鮮明に覚えている。それは、国民を戦争に駆り立てる「戦意高揚」と国民精神総動員に向けた政治的プロパガンダの、忌まわしい歴史の記憶である。

今また、吉田茂元首相に次ぐ戦後二度目の、安倍「国葬」に込めた政治的意図は明白である。

一方、プーチン・ロシアは、ウクライナのねばり強い抵抗と反転攻勢、国際社会の厳しい批判を前に、9月末、ロシアの軍事的支配下にある東部ルハンスク、

ドネツクと南部ヘルソン、ザポリージャのウクライナ4州で、「ロシアへの編入」を求める「住民投票」を行い、87%の支持を得たとして、4州のロシアへの「併合」を宣言した。銃口の下で行われた「住民投票」と一方的な「併合」は、主権国ウクライナに対する理不尽かつ国際法違反の領土略奪行為であり、直ちに撤回されなければならない。

そうした中、10月7日に発表されたノーベル平和賞は、プーチンの戦争に対する痛切かつ毅然とした「意思表示」である。ノーベル賞委員会は、「人権、民主主義、平和共存の擁護者」として、ベラルーシで拘束中の人権活動家アレクシ・ビャリャツキ氏と、プーチン政権の強権支配に抵抗を続け、解散させられたロシアの人権団体「メモリアル」、2月以来のロシアによる戦争



10月8日NHKのサイトより転載

犯罪の記録に取り組みウクライナの「市民自由センター」の、3カ国・一個人・2団体に2022年度の平和賞を授与した。それは、戦争を最大の人権侵害とし、ロシアの侵略行為を21世紀の忌まわしい「蛮行」として断罪、プーチン・ロシアに無差別爆撃の即時停止と撤退、和平のテーブルに着くことを求めた渾身のメッセージである。

## こげた漬物

伊藤 智美

つむじ風

この夏も暑かった。この夏なにが一番おいしかったかと言えば、デパ地下で買った京都の水茄子の漬物だ。みずみずしくて絶妙の塩気、おかずは他に何もいらぬ。漬物といえばもう一つ思い出すことがある。私の実家は戦前清閑町の北側にあり、あの静岡大空襲に遭った。その日、父も二人の兄も不在で、母は1歳の姉を背負い、3歳の姉、6歳の兄、13歳の姉を頭上にかかげた布団の下に入れ、その後ろから16歳の姉が布団に水を掛けながら逃げた。母は「逃げるときたくさん死んだ人を踏んでしまったよ。」と眉をひそめて言った。夜が明けてもまだ煙が立ちのぼる我が家の焼け跡に行ったら、漬物樽の外側は焼け、ふわふわと湯気の立つ糠みその中であつたキャベツを取り出し、みんなで食べたそうだ。私は、そんな漬物を食べたくない。夏はずっとずっと水茄子を食べたい。

## 「ミサイルがどっかーん！命中だ。これでこの世の終わり」 ～宮 秀雄～



▽えっ！「原発再稼働、原発の運転期間を40年から60年へと延長許可、加え原発の新、増設も」だって。またもや原子力村が

蠢きだした。「電源が足りないから再稼働するしかない」というのは、国民への脅迫だ」と、脱原発を掲げるNPO法人「原子力資料情報室」の松久保氏は「原発回帰」の動きを強める原子力村を批判する。▽岸田首相は財界の声を聴く力はあるが庶民の声を聴く力を少しも持つてはいないようだ。チョルノービリと福島の大事故に続き、プーチン侵略戦争でミサイルが構内に落下したザポリージャ原発が危険にさらされている現実を見れば「原発は経済的で安全です」と言われても、それは嘘である。地震や津波も怖いがミサイルが原発に命中、直撃すれば大惨事となる。▽台湾有事を煽り北朝鮮のミサイル発射を利用しての「敵基地攻撃論」「防衛費増額」の軍拡やむなしへの世論誘導が本格的に始まっている。騙されてはいけない。「撃ちてしままん」「靖国で会おう」と4千余人の若者を特攻隊という美名の集団自殺に追い込んだ見事なインドコントロールだ。国民の大部分が集団発狂状態での敗戦。「統一教会」という子供騙しのカルト集団に洗脳された庶民を、「騙される人が馬鹿なのだ」と冷笑し嗤えるか。11月13日午後、駿府城公園での「浜岡原発の再稼働を許さない！ひまわり集会」に行こう。ついでに本の紹介を。矢部宏治(著)『日本はなぜ、基地と原発を止められないのか？戦後70年の謎を解く』



# 分断された安倍「国葬」!

9月27日に強行された安倍元首相の「国葬」は、あらためて分断された日本の姿があらわになりました。

もとより暴力によって命を奪われるようなことは決して許されることではありません。安倍元首相の事件も厳粛に受け止められるべきもので、個人の葬儀に関して誰も口を挟めるものではありません。

問題は国葬です。戦後の日本には国葬の根拠となるべき法律がありません。憲法14条(法の下に平等)、19条(思想信条の自由)に違反します。さらに、安倍元首相は様々な疑惑をかかえ、それらが解明されていません。安保法制



(写真上) 青葉公園での「国葬」

反対アピール行動



(写真左) 静岡駅地下の「国葬」反対行動

やアベノミクスの評価も定まっています。最近では旧統一協会との関係が取り沙汰され大きな政治問題となっています。これらのことから、世論は大きく割れ、どの世論調査をとっても、「国葬」の不適切さを指摘する意見が半数以上を占めています。このような問題がある中で、閣議決定だけで国葬を開催することはできません。

## 静岡市でも抗議の行動

日本武道館で挙行された「国葬」や、献花に訪れる人の行列の傍ら、「国葬」反対の集会在東京始め全国で開かれ抗議の声が広がりました。

国会議事堂前には、1万人5千人ほどが集まり、抗議の意思を示しました。

静岡市でも、2か所で抗議行動が行われました。

青葉公園には、「国葬」

当日12時過ぎから、日本共産党、立憲民主党、緑

の党の議員らが通りがかり人たちに「国葬」の問題点を訴える中、70人ほどの人たちがスタンディングをしました。静岡駅地下道には、

同時刻に憲法共同センター、清水9条の会など約40人が集まり、通りかかる市民に、スタンディングとチラシ配り、抗議の訴えをしました。

## 市内各学校弔意表明なし

岸田首相は、反対の声の高まりに押され、「国葬」儀は、「国民に弔意を押し付けるものではない」と表明、政府は、各都道府県など地方自治体、学校などに「国葬」に関する通知を出すことができませんでした。

静岡市教組退職教職員連絡協議会末広会とすえひろ九条の会は、「国葬」に先立つ9月22日、静岡市教育委員会教育総務課と話し合いを持ち、以下の要請をしました。

- 一、学校に弔意を強要しないでください。
- 二、弔旗、半旗掲揚、児童生徒の黙祷、学校長や担任からの指導などをさせないようにしてください。

これに対して、市教委は、「国葬について、文科省からは何の通知も来ていない。市教委としても各学校に通知を出す考えはない」と回答しました。

当日27日、市内各学校で、半旗掲揚が行われていないことを確認しました。

一方グランシップは半旗掲揚をしていました。県と所管施設ではそのような対応をしようです。テレビ報道によれば、静岡県の市町では、4割程度が弔意を表さなかつたということです。

東京23区も半々に分かれたようです。日本武道館でのものものしい「国葬」の一方で、全国各地で反対集会有り、学校も「どこ吹く風」との対応では、まさに国葬の体をなしていなかつたのではないのでしょうか。

## 久保山愛吉さんの68回目の命日

2022年9月23日 追悼行動



から離脱し、核兵器全面禁止の運動の先頭にたつべきだと強調。久保山氏の「原水爆の被害者は私を最後にしてほしい」の言葉をかみしめ、核のない世界のためにさらに運動を進めると語りました。

中野弘道・焼津市長のメッセージが代読されました。県宗教者平和懇談会の小野事務局長が誓いの言葉を述べました。

県母親大会連絡会の粕谷会長から、2月に福島県楡葉町の宝鏡寺に送った、愛吉氏と妻・すず氏のバラが開花したとの報告もありました。

午後は市内の公民館で文化行事が行われ約70人が参加。鬼頭県原水協理事長の挨拶を兼ねた情勢報告のあと、民謡・宝華会の3名による東北や沖縄の民謡を披露。原水爆禁止世界大会に参加した青年が核兵器廃絶への決意を発言するなど特別発言もありました。

丹羽 巖

## 平和の動き 10~11月



### 10月

29日(木) 9の日行動 青葉前 12:00

### 11月

8日(火) 核禁条約参加署名 東急前 12:00

9日(水) 9の日行動 青葉前 12:00

13日(日) 浜岡原発の再稼働を許さない!  
ひまわり集会 14:00 駿府城公園

19日(土) オール静岡アクション 青葉前 17:30

26・27日(土・日) 日本平和大会/オンライン

29日(火) 9の日行動 青葉前 12:00